

お茶の水女子大学における遡及入力プロジェクト (事例報告)

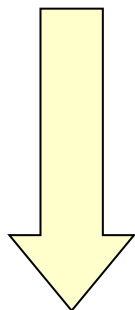
～遡及入力は目的か？～



お茶の水女子大学
図書・情報チームリーダー
茂出木 理子

遡及入力 進捗状況

【2006年3月時点 全学蔵書数 600千冊】



- システムリプレイス(メーカーの変更)
- 簡易書誌データの登録=資産管理DBをOPACに統合
- 平成19年度NII遡及入力事業採択(大量遡及)

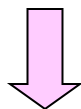
【2008年3月時点 全学蔵書数 612千冊】



- 平成20年度NII遡及入力事業採択
- 学内経費による研究室所蔵図書 of 遡及

遡及入力は目的か？

お茶大といえば、「ラーニング・コモンズ」「キャリアカフェ」「入館者50%増」「学生ILLの無料化」「LiSA」「貸与パソコン」「リポジトリTeaPot」「**遡及入力**」・・・



お茶大図書館は、
学生のために何ができるか？の追求

(参考) 餌取直子; 茂出木理子. お茶の水女子大学附属図書館における学習・教育支援サービスのチャレンジ —図書館の学習・教育支援サービスには限界はない—. 大学図書館研究. 2008, no.83 (印刷中)

「遡及入力」をプロジェクトと考えるならば

お茶の水女子大学
附属図書館の理念



1. 理念 かならず文章としてまとめる

2. 使命 理念実現のため組織、個人が果たす役割

3. 行動戦略、戦術

1. 資源配分 → 足りないときはどうするか？

2. 「こういうことをすれば、きっとこうなる」というストーリー

3. 私は、明日から何をするか？

お茶の水女子大学の目標



あらゆる場で、リーダーとなれる
女性人材の育成

中期目標(抜粋)

- 図書館の情報化、総合情報処理センターによる学内の情報化、情報処理教室の開放などにより、学内や学外の情報を自由に活用できるように整備を図る。
- 図書館本館と各部局の図書室とのオンライン化をはかるとともに、各部局所蔵の図書を全学の学生に自由な閲覧を可能とし、貸出できる体制を整備する。

お茶大図書館では、 みんながそれぞれが「リーダー」

図書・情報チーム
総勢23名 (FTE換算: 18名)

附属図書館 (FTE換算: 14名)

総務係 (係長1 + 非常勤2)
発注、支払

企画・契約係 (係長1 + 係員1 + 非常勤1)
雑誌、電子資料

資料管理係 (係長1 + 係員1 + 非常勤2)
目録、資料管理

情報サービス係 (係長1 + 係員1 + 非常勤4)
利用者サービス

情報基盤係 (係長欠員 + 係員1 + 派遣1 + 大学資料担当4)

附属図書館長
(副学長)

チーム
リーダー

ルーティンワーク

**変革のための仕事が
ルーティンワークを楽にする**

- ・具体的な改善に向けての実行チーム。
- ・平成20年度は4つの課題解決チームを編成
- ・係員、非常勤職員は、必ずひとつ以上チームに入る。
- ・どのチームに入るかは、本人の自由意思。

遡及入力(平成19年度)

実施期間: 8月28日~3月19日

作業人数: 6名(業務委託)

入力方法: 現物からの遡及

和書	47,800冊 62%	NCヒット	46,887冊
		書誌作成	913冊
洋書	29,200冊 38%	NCヒット	27,298冊
		書誌作成	1,902冊
計	77,000冊		
	ヒット率 96.3%		
	レコード調整 139件(0.18%)		

NIIへの事業申請書(計画書)と実施数値の誤差は、「1%~2%」

第1期計画(附属図書館と大学院図書室が有する全学共有資料分)ほぼ完了!

平成20年度からは、第2期計画(研究室所蔵分)に着手。

NCにヒットしないような資料は、職員(常勤、非常勤)が遡及入力をルーティンワークの一環として進める

遡及入力(平成14年度～18年度)

	業務委託遡及
平成14～15年度	33,000冊
平成16年度	7,600冊
平成17年度	11,000冊
平成18年度	19,000冊

簡易目録データ作成とOPAC登録
260,500冊

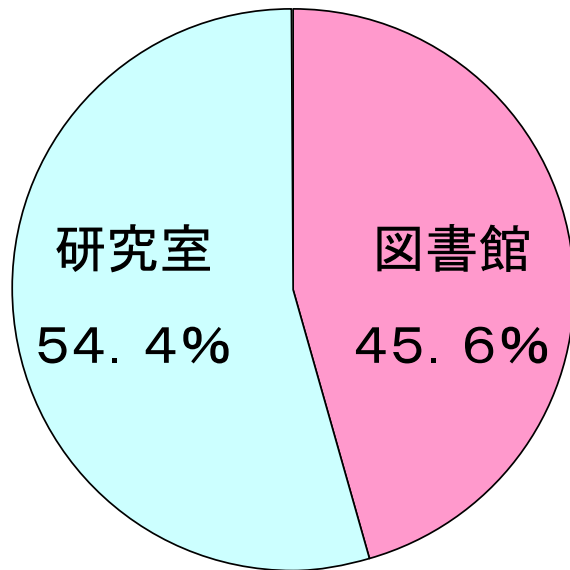
1. 実施したことを学内にアピール(役員会、教育研究評議会、等々)
2. 図書館スタッフ全員に図書館予算を明示

図書館所蔵 vs 研究室所蔵

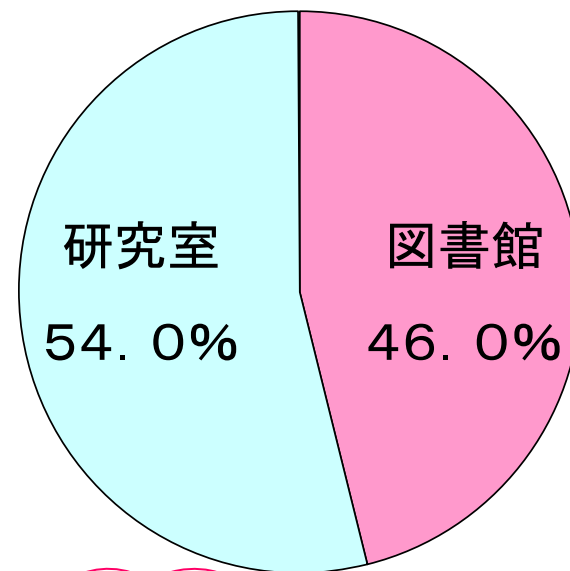


蔵書はどこにあると使いやすいのか？

2003年度末 現在



2007年度末 現在



研究室所蔵
図書蔵書の点検
も心配なところ



遡及入力推進とそのほかの改善



- 研究室図書 of 蔵書点検と図書IDラベル貼り(遡及前準備)

平成19年度から実行: 42,000枚 残140,000枚

- 図書館改修(リモデル)によるラーニング・コモンズ、キャリアカフェ、ガラス張り事務室、集密書架新設
- 10万冊の資料大移動
- 学生ILL無料化
- LiSA (Library Student Assistant)
- 学内のいろいろな教員と仲良く仕事する

【2006年7月時点】

なぜ、この一等地にカードボックスを置くのか？

学生立入禁止の扉

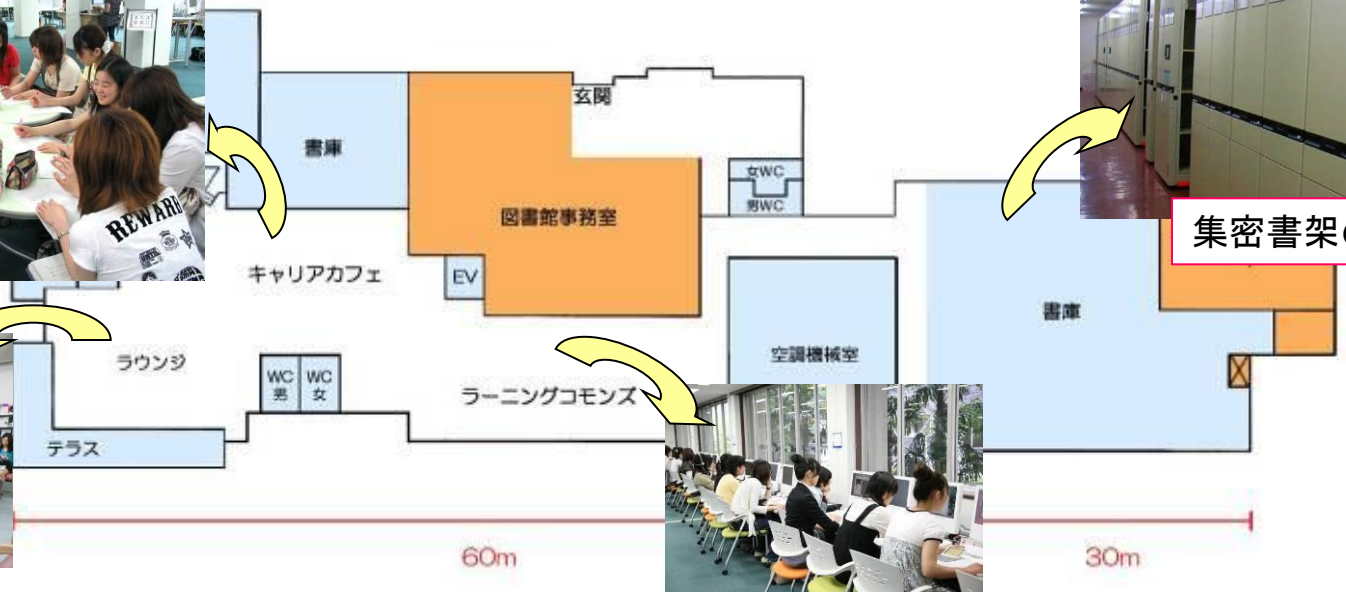
1年9ヶ月



【2008年3月時点】



集密書架の新設



プロジェクト推進に必要なもの

楽をする発想

- ・同じ成果を出すなら労力は少ない方がいい。
- ・一人で(図書館単独で)頑張らない。
- ・新しい仕事でルーティン業務を楽にする。

多方面展開

- ・見えやすいところと見えにくいところはセットで。
- ・全員が成功体験を積む。
- ・一つを片付けると、他のものも連動して片付く。

そして、アピール